

団地振興会報

第44号



和歌山
木材港団地振興会
会長
山本 進三

株式会社 山本進重郎商店
代表取締役 社長

年頭あいさつ

新年あけましておめでとうございます。

日頃より和歌山木材港団地振興会の活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

昨年の初頭から始まった新型コロナウイルスの流行は世界経済を一変し、今も私たちに大きな影響を与えています。特に年が明けてからの感染者の増加は著しく、首都圏や関西圏、名古屋圏では2回目の非常事態宣言が発令されるまでに状態が悪化してきています。

感染者の多くは20代30代の若者であるということですが、家族を介しての感染などにより幅広い世代にも影響が出ている状態で、まだまだ以前のような暮らしに戻ることは先になるかもしれません。会員企業の皆様におかれましては、今年も引き続き注意を怠らず、無事に過ごされることをお祈りいたします。

さて、この西浜工業団地では、定期的に溝掃除やゴミ拾いを続けております。昨年は恒例の花火大会、港祭りが中止になったため、ゴミ拾いを実施することはありませんでしたが、溝掃除は例年と変わらず春と秋に実施し、少なからず団地内の美化に貢献していると確信し

ています。

しかしながら、近年は地球温暖化による異常気象が頻発するようになり、ゲリラ豪雨や猛烈な台風が来ることも多くなりました。2018年の9月には猛烈な台風によって大きな被害を受け、1週間以上停電が続いたことも記憶に新しいと思います。

このような気候変動を視野に入れて、今後少しでも激しい風雨による被害を少なくするためにも、団地内の溝掃除を引き続き徹底していくことが必要であると思います。また、豪雨に対応して団地内の水はけを今まで以上に良くする必要があり、溝蓋などが外せず掃除ができない箇所や誰の担当か分からない箇所、事情があって掃除が困難な箇所、清掃をするだけのマンパワーがない会員が担当する箇所など、溝が詰まった箇所があることで滞っていた雨水の流れを見直し、団地全体が水はけの良い状態を保つための更なる対応が必要になってきていると思います。

皆様方におかれましては、どうか上述のような事情をご配慮いただき、清掃に対して、今まで以上のご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

最後に2021年の干支は「辛丑(かのと うし)」です。辛(かのと)は文字通り、つらい痛みなどを伴う幕引きを意味し、「丑」は発芽直前の曲がった芽の状態、すなわち新しい命の初動を意味します。言い換えれば、古い時代が終わり、新しい時代が始まろうとしているということでしょうか。地球温暖化や新型コロナなど、我々は過去の常識や習慣を改め、真摯に新しい時代と向き合っていかなければならない1年になりそうですね。

本年もどうかよろしく願い申し上げます。



木材会館敷地等に開港時から設置されていた銅像等が移転しました。木材港の方角を向いて設置され、木材港の行く末を見守っているように感じます。(設置以来50年強になる小野元知事像、記念碑等、木材会館西の防波堤から)

11月の団地一斉清掃活動、ご苦労様でした。

11月の団地一斉清掃活動は11月18日(水)から11月20日(金)までの間で行い、今回は土(泥)と草が対象でした。

以前からの懸案事項である、県による側溝清掃、グリーンベルト植栽木の伐採は要望の一部が下津港湾事務所により実施されました。

清掃当日などに会員様から新たに伺った要望も加えて、引き続き県に要望を行って参ります。

会長年頭あいさつにも触れておりますが、会員の皆様の継続した清掃活動をお願い致します。



第20回和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会が行われます。

令和3年2月21日(日)恒例のジュニア駅伝が行われます。大会当日、団地内の道路においても車両通行規制が行われます。日曜日ですが、時間帯等により通行規制がかかりますのでご注意ください。詳しくは添付のパンフレットをご覧ください。



事務局より

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。

昨年はコロナで一年が過ぎてしまいました。行事予定もほぼ空白になってしまい、今春に再計画のAED研修も再延長の状況です。

早期収束を願います。



発行日/令和3年1月28日

発行所/和歌山木材港団地振興会 和歌山市西浜1660番地378

TEL.073-445-5574 FAX.073-445-5599

発行人/団地振興会事務局